

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	徳島大学	整理番号	J - 1
拠点のプログラム名称	ストレス制御をめざす栄養科学		
中核となる専攻等名	栄養学研究科栄養学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 武田 英二 外8名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>社会構造や生活環境の変化に伴って現代人はストレスが増大しており、21世紀の栄養学分野が果たすべき課題は、ストレスによる「こころ」と「からだ」の異常に対応できる“食”を通じた栄養予防医学の展開と確立である。徳島大学では医・歯・薬・栄養学研究科を融合した生命科学系統合大学院を設立し、機能性食品評価システムを構築する将来構想を掲げている。「ストレス制御をめざす栄養科学」の臨床への橋渡し研究を遂行する本COE拠点では、1) ストレス関連疾患の遺伝子・タンパク質発現プロファイリング、クラスター解析、及びバイオフィーマティクスによる疾患特異的バイオマーカーの同定とその検出システムの開発、2) 抗ストレスのシーズ食品及び化合物の代謝・生体反応・安全性評価、有効成分の分子設計・合成、を通じた抗ストレス食品の開発、3) 抗ストレス食品のヒトでの機能解析・評価、テーラーメイド栄養管理法の確立、を実施する。さらに、競争的環境の中で将来のストレス栄養科学研究分野を担う若手研究者を育成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>社会や生活環境の変化に伴うストレスの増加という現代の重要な問題について、ストレス科学、食品機能学、代謝学、分子生物学などの学際的融合により、ストレス栄養科学の拠点を形成するという企画のユニークさが評価される。ストレスの客観的評価法を確立し、抗ストレス高次機能食品の開発研究と教育を行うことを期待する。</p>			